１人１台端末の活用による実践事例

（小・中学校）

学校名	瀬戸内市立美和小学校	実践者名	出井　早紀
教科等	社会科	学年	第６学年
		授業活用段階（岡山県版）	Stage３
育成したい資質・能力	学習課題の解決に向け、単元で学習したことを根拠にしながら自分の考えをもち、表現することができる力を育成する。		
単元・内容等	「幕府の政治と人々の暮らし」 江戸幕府の政治の仕組みや社会の様子を学習し、江戸幕府が２６０年以上長く続いたのか（学習課題）を考える。		
児童生徒の実態（端末活用頻度等）	端末は１日に１時間程度使用しており、キーボード入力にも慣れている。		

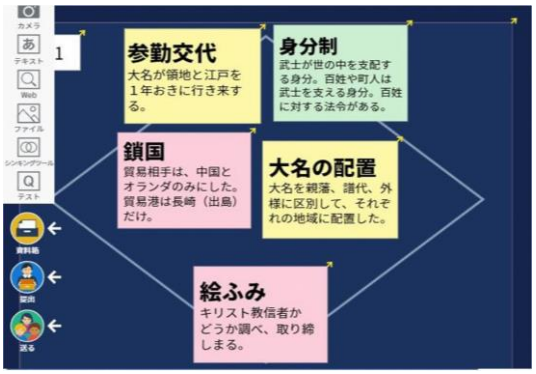
活用の概要（使用アプリ名を含む）

(1)学習の見通しをもつ。
- 「なぜ江戸幕府が２６０年以上長く続いたのか」という問いから、自分たちの予想や考えたことを思考ツールで整理する。

(2)個人で考える。
- 学習者用デジタル教科書を使用し、気になるところを拡大して調べたり、気付いたことを書き込んだりする。
- 江戸幕府が長く続いた理由を思考ツールの「ダイアモンドランキング（ロイロール）」を活用し、江戸幕府の政策の順位付けを行いながら整理する。その際、順位付けを行った理由やその根拠等も記入する。

(3)全体で話し合う。

(4)学習のまとめと振り返りを行う。



実践者の手ごたえ	児童生徒の振り返りや反応等
学習者用デジタル教科書に授業を通して読み取ったことを書き込んでいるため、調べたり見直したりする時にすぐに既習事項を振り返ることができた。授業支援ソフトの思考ツールを活用することで、思考の整理をスムーズに行うことができていた。学習活動全体で ICT を活用するのが効果的なのか、端末と紙媒体の使い分けをどうするかが課題だと感じた。	（児童の振り返り） 「ランキングをつけてみて、それぞれの政策の有効性を深く考えることができた。」 「友達のランキングの理由を聞くのが面白かった。学習を通して、江戸幕府がなぜ長く続いたか良くわかった。」